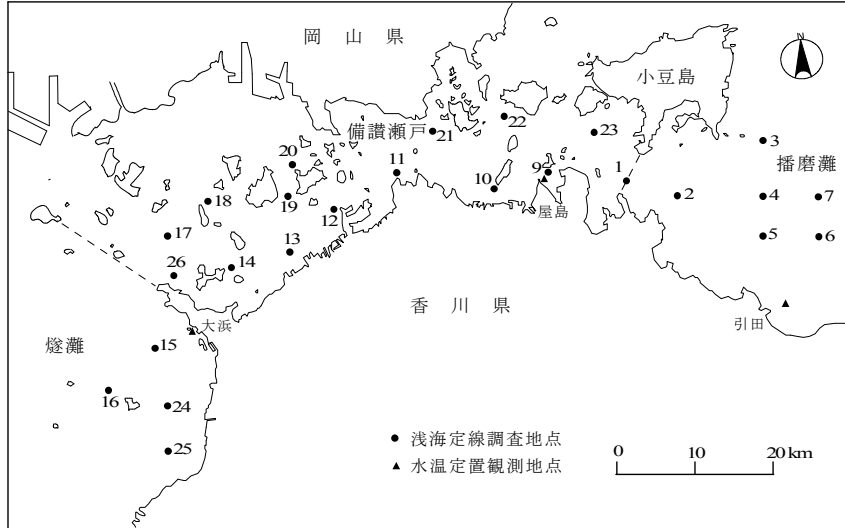


香川県漁海況速報 平成20年11月 (H20-8号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成20年11月5日（播磨灘）、4日（備讃瀬戸、燧灘）

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高め」、塩分は「やや高め」、透明度は「かなり低めから著しく高め」、溶存酸素は「かなり低めからやや低め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	22.1	22.1	22.0	32.7	32.7	32.7	11.7	4.68	4.61
	平年値	21.3	21.2	21.3	31.9	31.9	32.1	8.3	4.95	4.80
	平年偏差	0.8	0.8	0.7	0.8	0.8	0.6	3.4	-0.27	-0.19
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	著しく高め	やや低め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	21.5	21.5	21.5	32.8	32.8	32.8	5.9	4.56	4.52
	平年値	20.6	20.6	20.6	31.6	31.6	31.7	4.9	4.91	4.89
	平年偏差	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.1	1.0	-0.35	-0.37
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	21.5	21.5	21.5	33.0	33.0	33.0	5.3	4.71	4.66
	平年値	20.9	20.8	20.8	31.9	31.9	32.0	7.7	5.26	5.02
	平年偏差	0.7	0.7	0.7	1.1	1.1	1.0	-2.5	-0.55	-0.36
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	かなり低め	かなり低め	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

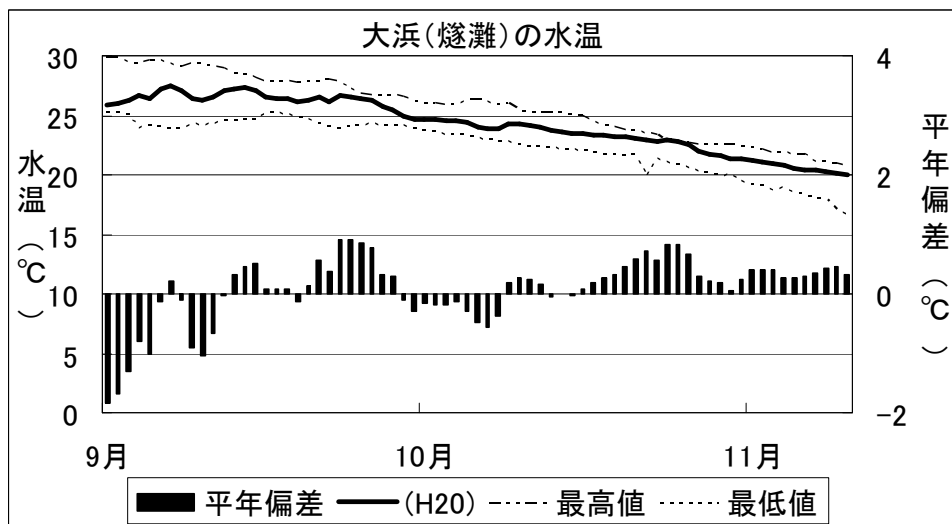
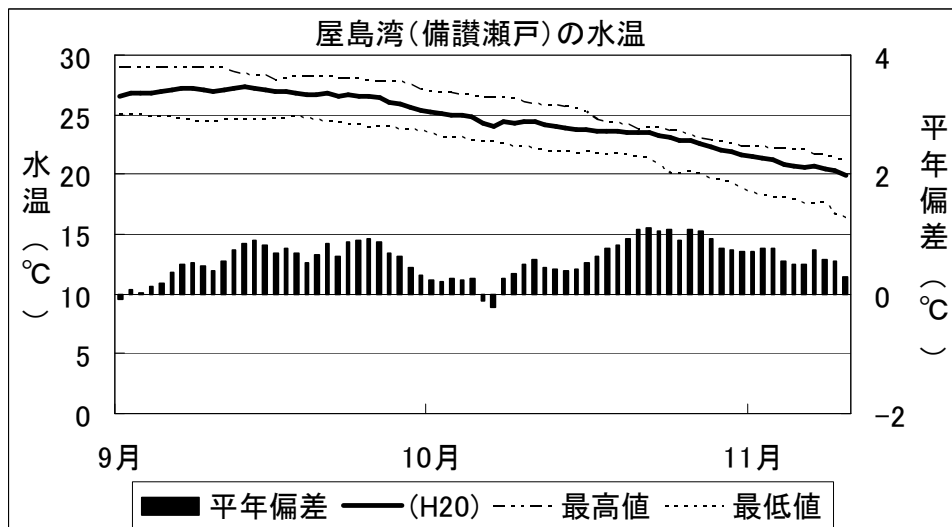
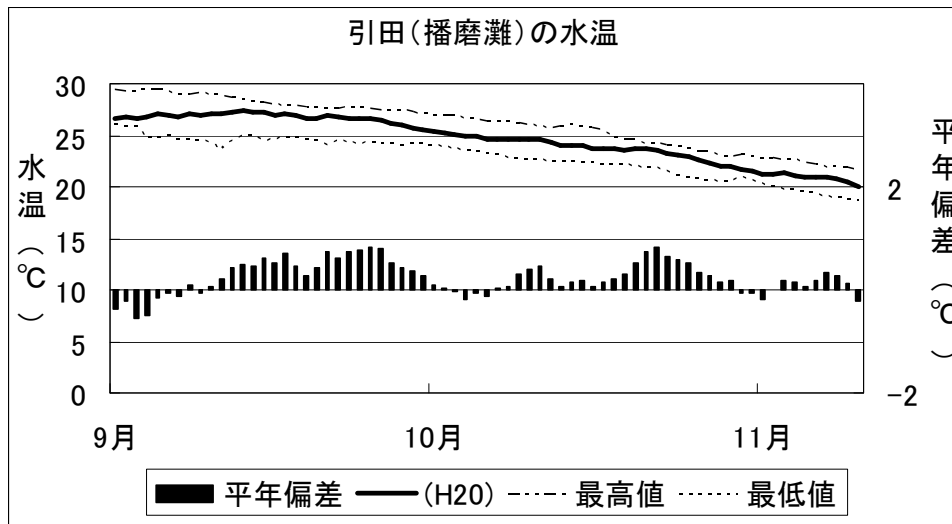
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 10 月上・中旬は平年並み、下旬は平年並みからやや高め、11 月は平年並みで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 10 月前半は平年並み、後半はやや高めからかなり高め、11 月は平年並みからやや高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 10 月上・中旬は平年並み、下旬は平年並みからかなり高め、11 月は平年並みで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 19 (2007) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 19 (2007) 年



4) 赤潮 (10月15日～11月17日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成20年11月5日（播磨灘）、4日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

カタクチイワシ卵の出現量は平均0.03個/曳網（対平年値16.7%）であった。

2. 漁況

10月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にウシノシタ類、カマス類、イボダイ、小エビ類、コウイカ類が漁獲されている。 柵網では主にマアジ、タチウオが漁獲されているが、低調である。 船びき網のシラス漁の10月の漁獲量は約110トンで、前年の15トン大きく上回る好漁であった。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マアナゴ、カワハギ、シロサバフグ、マダコ、イイダコ、コウイカ類、小エビ類が漁獲されている。 依然としてマダコの好調な漁獲が続いているが、例年と比べて、メイタガレイ、マアナゴ、ガザミ、小エビ類が少ない。
燧 灘	底びき網では主にメイタガレイ、シロギス、タチウオ、アカカマス、マダイ(小)、ガザミ、コウイカ類、小エビ類、シャコが漁獲されているが、シャコは前年ほど漁獲されていない。 柵網では主にタチウオ、マルアジ、カワハギ(小)、ウマヅラハギが漁獲されている。 サワラ流し刺し網は11月に入っても5統前後が操業している。